

港区まちづくりマスタープラン 意見交換会ニュース

芝地区
No.3
2016.1.14

芝地区での第3回意見交換会を開催しました

平成28年1月14日(木)の18時00分から芝公園区民協働スペースで、港区まちづくりマスタープランについての芝地区での第3回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

第1回意見交換会での「地区の魅力と課題」についてのご意見、第2回意見交換会での「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」についてのご意見をふまえ、第3回意見交換会では、「課題解決や魅力推進のための取組」について意見交換しました。

出された意見を模造紙にまとめ、グループごとに発表してもらいました。意見の詳細は裏面をご覧ください。

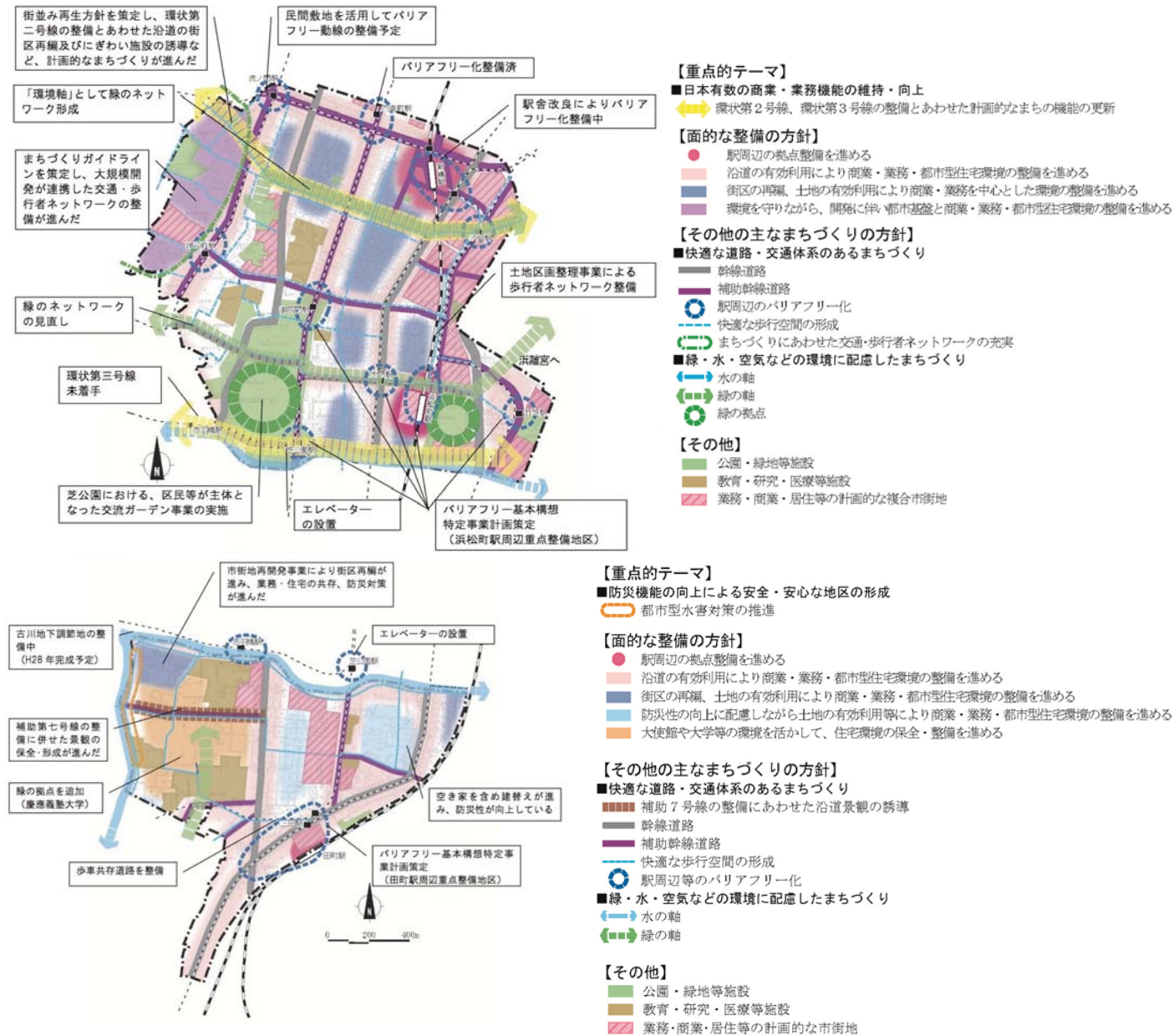
話し合いは1時間程度でしたが、意見やアイデアを出し合って、活気ある話し合いになり、時間通りに終了することができました。

今年度開催した全3回の意見交換会においていただいたご意見をふまえて、まちづくりマスタープランの改定骨子を作成しています。

改定骨子が出来上がりましたら、区民の皆さんのご意見を広くお伺いするパブリックコメントの募集をします。来年度は、改定骨子を基に素案、案を作成し、平成29年3月改定を目標にしていますので、今後も引き続きご協力の程よろしくお祈いします。

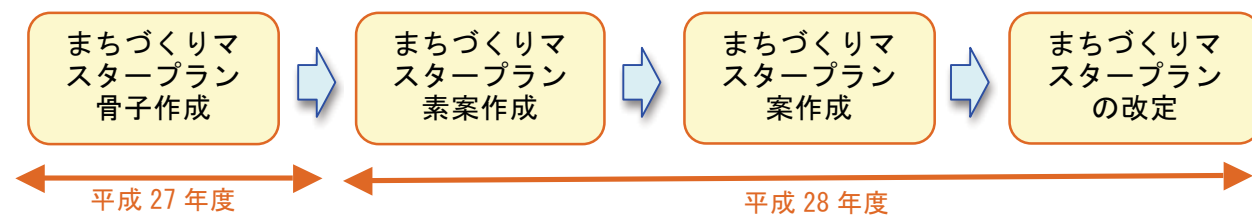


◆◆現行計画でのまちづくりの状況◆◆



◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。

港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当

TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239

〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特성에応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面を含めた計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 平成27年度に予定していた意見交換会は、今回で終了しました。平成28年度の意見交換会の開催については現在検討中です。開催が決まりましたら広報・HP等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

芝地区で行うべき様々な取組のご意見が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

グループ①

新たなまちづくり

- ・新たなまちづくりを行うにあたり新たな考え方を取り入れることが必要。
- ・格調ある世界に誇ることのできるまちづくり

古川の活用

- ・古川は港区唯一の川である。何とか活用を。
- ・日本橋のように、高速道路を地下に埋めて、古川を水辺空間として活用してほしい。

ランドマークとなるまちの紹介施設を

- ・ランドマークとなるまちの紹介施設が必要である。
- ・まちの歴史を紹介する拠点をつくる。

高齢者への情報発信

- ・高齢者にやさしい情報提供
- ・情報弱者にわかりやすく伝えることが大切である。

外国人への日本教育・相互理解

- ・コンビニなどの店員さんが外国人になってきている。20年後では、ほぼ全員が外国人になっているかもしれない。そういった方々へ、日本の労働の基本を教える教育が必要である。
- ・外国人を雇う企業がしっかり教育していく必要がある。
- ・多文化共生となり、国籍も文化も食べ物も異なる様々な方がいる。多文化共生の考え方で、お互いに認め合って、相互理解をしていくことが大切である。

きめ細かい配慮ある政策を進めて欲しい

- ・きめ細かい配慮ある政策を進めて欲しい。例えば、バリアフリーで考えると、まだまだきめ細かい部分できていない。ベビーカーや車イスでは、小さな段差がまだまだストレスになっている。
- ・本当の当事者に立った視点でまちづくりを進めて欲しい。

自転車・歩行者中心のまちづくり

- ・港区全体で、自動車より人に特化したまちづくりを。
- ・自転車道の整備の推進
- ・車の保有台数は減ってきている。これからは自転車や歩行者の時代である。

新橋の再開発でまちの課題を解決

- ・新橋に帰宅困難者を受け入れる多目的ホールをつかってほしい。
- ・新橋駅の改装に伴った駅周辺の再開発は必要である。これによって、現在問題となっている新橋の街の安全・安心に関する事柄が一挙に解決される。

新虎通りを防災拠点に

- ・新虎通りの広い歩道を利用して災害時の緊急拠点にしてほしい。病院も近く、物資の配送もできる。
- ・新虎通りは、千代田区、中央区に負けないビジネスのまちの拠点となる。

たばこの煙の副流煙をなくす

- ・スモキングエリアを密閉化してたばこを吸っていない人の副流煙をなくす。
- ・歩きたばこのルールを徹底する。

古い建物をいかした再開発を

- ・歴史的な古い建物の再開発の際には古い形を残すなど工夫し、そのガイドラインを作成して実施する。
- 麻布郵便局、高輪消防署、堀商店、蕎麦の砂場などの建物をいかしてほしい。
- 歌舞伎座、KITTE では古い建物をいかしたり、高さを揃えたりしている。

歴史的なものを冊子などで伝える

- ・歴史的なものの江戸～明治～今の変遷を案内したい。
- ・マップ、冊子、案内板などをつくる。昔の町名の案内板も作りたい。

災害情報を働いている人にも伝える

- ・拠点に備蓄、帰宅困難者対策を行うと共に周知する。
- ・町会、自治会の防災訓練のレベルを揃える。
- ・避難経路を個人で確認しておく（働いている人も）。

人口増加に対応した施設整備

- ・人口増加に対応して子育て、教育、医療の施設を整備する。

エリアマネジメントなどで楽しいまちに

- ・新虎通りは、沿道を盛り上げていく活動を行っている。魅力UP エリアマネジメント。
- ・他の地区でも広がると良い。
- ・コミュニケーションをとるために、イベントが増えていることは良いが、若い人を増やすにはどうすればいいか？
- ・大使館巡りを土日や夏休みにやれると良い。

グループ②

緑の保全、創造と生物多様性

- ・芝地区の財産である緑や風格のある景観を大切にしたい。
- ・今ある緑の保全+開発に併せた緑を増やしていく→量だけでなく、生物多様性に留意

駅にたまり場を

- ・交通（駅）の利便性を高める。駅前に広場を整備する。
- ・駅前ににぎわいの場、たまり場となる広場を整備する。（オープンカフェ、お店、地下の広場など）

自転車専用道の整備

- ・自転車専用道路を整備する。歩道は歩く人のためのものとする。

バリアフリーの整備

- ・バリアフリーを進める。駅だけでなく、歩道橋も場所によっては撤去する。
- ・駅の、特に出入口を改善する。
- ・地下鉄の階段の横に昇りエスカレーターが出来て便利の声と共に足の不自由な人から下りの方が欲しいという意見あり。

＜地区のまちづくりの現状等＞

